

Q13 整理整頓が苦手な物をなくしやすい子どもには、どう対応したらよいでしょうか

子どもの状態

- 机の中やロッカーがいつも片付いていない。
- 周りにものが散乱している。
- 必要な物がすぐ取り出せない。
- 宿題や学習道具などの忘れ物が多い。
- 帽子や学用品などをよくなくす。

状態の理解のポイント

- ・ 整理整頓の方法が分からない。
- ・ 自分の物と他人の物との区別がつかない。
- ・ しまった場所や使ったことを覚えていない。
- ・ 行動の結果を予想したり見通したりすることが難しい。

考えられる対応

- 整理整頓の方法を具体的に指示する。
 - ① 何をどこに片付けるかを指示する。
 - ② 片付ける場所が分かりやすいように、絵や写真で表示する。(図110)
 - ③ 片付ける順序を分かりやすく知らせる。(図111)
 - ④ 定期的に片付ける時間を設定する。
 - ⑤ 細かく片付けるまでの一時的な箱等を準備する。(図112)
- ⑥ なくしたものがいないか確認する。
- 自分の持ち物がすぐ分かるように、大きく名前を書いたり、シールをはるなど印を付けたりする。
- 少しでも改善が見られたら、本人の努力を認め褒めるようにする。
- 持ち物をできるだけ少なくしたり、一つにまとめられるようにしたりする。
- 場所を移動するときに、持ち物の確認をする習慣を付ける。



図110 場所の表示

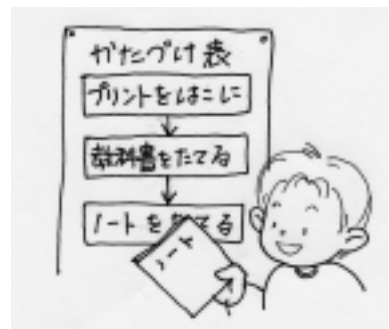


図111 順序の表示



図112 一時保管箱

- ◇ 改善がみられた方法等の情報を常に提供し合うなど、家庭との連絡を密にしながら取り組むようにする。